

物語の一場面を書きかえて脚本化の手順を知ろう

矢印と吹き出しの指示に従って 印の部分を書きかえてみよう。

脚本「泉のかいじゅう」

「泉のかいじゅう」

ここまでのお話

きれいな泉のわく深い森に、リスの兄弟が住んでいた。兄のスクイーはすばしっこくていたずら好き。弟のレルは泣き虫だった。ある日、暴れん坊のクマが隣の山からやってきて、泉を独り占めしてしまう。みんなはこわがって巣に閉じこもってしまった。スクイーはなんとかできないかと、いっしょけんめい考えた。

ここまでのあらすじを、第三者の視点をナレーターに語らせませ。話し言葉に書きかえていきます。

木々のすき間から赤い夕日が長い影を作りながら沈むのが見える頃、とつぜん、スクイーは叫んだ。「そうだ。みんなでおおきなかいじゅうになるんだ！」

スクイーは森の仲間たちを集めて、かいじゅうになる方法を教えた。

波線部 を状況の説明するト書きと書かれていない仲間たちのせりふ(付け足し)、スクイーの気持ちを説明するナレーションに書きかえます。

みんなが自分の役割をはたすこと。けつしではなればなれにならないでもちばを守ること。

会話の形で書かれていないスクイーの言葉を書きかえます。

なんとかかいかいじゅうの姿に見えるようになつたとき、レルが言った。「でも近づいたらばれてしまうよ。」

「お日様の力を借りるのさ。鳴き声は僕のをほら穴にひびかせて出すよ。」

赤い夕日が最後の光を森の中に届けたとき、木々の間から、黒々としたおそろしいかいじゅうの影がのびた。それは泉のほとりにいたクマに、今にも襲いかかりそうだった。クマは「ガオーッ!」と叫び、おどろいたクマは逃げ出し、二度と戻ってはこなかった。

最終場面

スクイーたちの勝利

きれいな泉のわく深い森に、リスの兄弟が住んでいました。兄のスクイーはすばしっこくていたずら好き。弟のレルは泣き虫でした。ある日、暴れん坊のクマが隣の山からやってきて、泉を独り占めにしてしまいました。みんなはこわがって巣に閉じこもってしまいました。スクイーはなんとかできないかと、いっしょけんめい考えました。

赤い夕日が沈む頃、みんなが隠れている森の中。

「(叫ぶ) そうだ。みんなでおおきなかいじゅうになるんだ！」

スクイーは仲間たちにおおきなかいじゅうのふりをしてクマを驚かす方法を教えようとする。「そんなのうまくいきっこないよ。」

仲間たちに何を言われてもスクイーはあきらめませんでした。

「みんな、自分の役割をきちんとはたすんだよ。」

森の中でかいじゅうに見えるように練習しているスクイーたち。

「でも近づいたらばれてしまうよ。」スクイーは元気な声で答える。

「お日様の力を借りるのさ。鳴き声は僕のをほら穴にひびかせて出すよ。」

赤い夕日が最後の光を森の中に届けたとき、かいじゅうのふりをしたスクイーたちは夕日を背にして立っている。「ガオーッ!」

脚本化の手順

- 1 物語の語り手(視点)を把握する。
- 2 主なせりふを書き出す。
- 3 ト書き(場面や状況の説明)を書き加える。
- 4 描かれていない部分を付け加えるとき、ナレーションとして付け加えたりする。

波線部 を場面の状況や登場人物の気持ちをナレーターに語らせる形で書きかえます。

みんなで

(ト書き) ナレーター

レル (ト書き) スクイー

波線部 をト書きで説明します。

(ト書き) スクイー

スクイー

スクイー

(ト書き) 仲間A

ナレーター

(ト書き) スクイー

スクイー

(ト書き) スクイー

ナレーター

視野を広げて書く ワークシート 「情報を整理しよう」

学習日 月 日

一年 組 番

選んだ小説の展開を理解して、脚本化に適した場面を探そう

「少年の日の思い出」 ヘルマン・ヘッセ著 高橋健一訳

人称「」

視点…第一部「序章」

第二部「本章」

語り手に起きた出来事を中心に話の展開を理解して、脚本化に適した場面がどこかを考えてみよう。



第一部「序章」…

（

）

場面 いつ どこで 根拠とな る表現	登場人物 (語り手に)	出来事(語り手の行動)	視点となっている人物 (語り手)の心情
--------------------------------	----------------	-------------	------------------------

1 夕方 書斎 夕方の散 歩 色あせた 湖	わたし	子どもや について話し合う。	
---	-----	-------------------	--

2 夜 書斎 ランプ		・チョウの収集を見ながら語り合う。 箱のふたを閉じた客の言葉 「	
---------------------	--	--	--

3 夜 書斎 闇いちめ んに鳴く カエル		・客の告白(思い出話)が始まる。 客の告白 「子どものとき、チョウを収集していたの だが、自分でその思い出を	
-------------------------------------	--	---	--

第二部「本章」…

（

）

1 十歳くら い	・チョウ集めを始めた。 ・チョウ集めのほかのことはすっかりすっぽかしてしまっ。 ・朝早くから夜まで、食事になんか帰らないで、たびたび駆け歩く。	この遊技の 熱情 つつとりした感じ 緊張と歓喜 ねたみ、嘆賞しながら 憎んでいた 得意のあまり 自分の獲物に対する喜びはかなり傷つけられた。
2 あるとき 青いコム ラサキを 捕らえた	・中庭の向こうに住んでいる先生の息子() = ()にだけ見せようとする。 ・捕らえた珍しい青いコムラサキをこっぴどく される。	

8	7	6	5	4	3
二年後 うわさを 聞いた日 夜 自宅 自分の部 屋	二年後 うわさを 聞いた日 夜 エーミール の家	二年後 うわさを 聞いた日 夕方 夜 エーミール の家	二年後 うわさを 聞いた日 エーミール の部屋	二年後 うわさを 聞いた日 エーミール の部屋	二年後 うわさを 聞いた日 エーミール の部屋
・僕は、 エーミールの家を立ち去る。 だということを知った。	・家へ帰って夕方まで自分の家の小さい庭の中で腰掛けていた。 ・母に一切を打ち明ける。 ・エーミールに、自分がやったことを告白し、詳しく話し、説明しようとして試みる。 ・エーミールに謝罪する。 エーミールの言動	・だれかが階段を上がってくるのが聞こえた瞬間 チョウを 急いで引き返し、チョウを机の上に返したが、	・生まれて初めて を犯した。	・エーミールがクジャクヤママユをさなぎからかえしたといううわさを聞く。	すっかり してしまった。
その瞬間、僕はすんでのところであいつのどぶえに飛びかかるころだった。	僕は出かける気になれなかった。	僕の心を苦しめた。	僕の良い心が目覚めた。 大きな満足感。 を感じてしまった。	よりも	恐ろしい

脚本化に適した場面を探すポイント

事件や大きな出来事が起こっている。
登場人物が複数出てくる。
登場人物のセリフや行動描写、心情描写の量が多い。

あてはまる場面はどこだろう？
赤ペンで囲もう。

視野を広げて書くこと ワークシート A「劇の脚本を書くこと」

学習日 月 日 ()
一年 組 () 番 ()

場面の状況が分かりやすく伝わる劇の脚本を書くこと

脚本化のために、情報を収集、整理しよう

情報整理の手順

- 1 この場面までのあらすじを確認する。
- 2 この場面の語り手（視点）を把握する。
- 3 主なせりふに赤のマーカーで線を引く。
- 4 ト書き（場面や状況の説明）の根拠となる行動に青のマーカーで線を引く。
- 5 語り手以外の登場人物の心情を把握する。

この場面までの主な出来事

第二章 「僕の告白」の場面

1 この場面の直前の場面の状況（あらすじ）

2 この場面の語り手は…

3 登場人物（人物像の把握）

どんな人物？

5 語り手以外の登場人物の心情を想像して書きかえてみよう。
手がかりとした描写をもとに書いてみよう。

「手がかりとした描写」

「の視点で書きかえる。」

本文については、
東京書籍1年指導書
資料編CD-R「本文」のデータを
挿入して使ってください。

このワークシートには、
教科書P131 7行目～P132 15行目
を挿入してお使いください。



視野を広げて書くこと ワークシート 「劇の脚本を書くこと」

学習日 月 日 ()
一年組 番 ()

場面の状況が分かりやすく伝わる劇の脚本を書くこと

収集 整理した情報を使って脚本の下書きをしよう。

脚本化の手順

- 1 ここまでのあらすじを示す。
- 2 主なせりふを書く。
- 3 ト書き(場面や状況の説明)を書く。
- 4 せりふやト書きで表現できない部分の説明を付け加える。



「具体的な手立て」
ナレーターにあらすじを語らせる。
主なせりふを付せんに書き出してはる。
ト書きを書く。
描かれていない部分を付け加えるときには、
ト書きやせりふを付け足したり、ナレーショ
ンとして付け加えたりする。
全体の流れを見直す。

ナレーター

「あらすじ」

Blank area for writing the script, with a vertical line separating the 'ナレーター' (Narrator) section from the 'あらすじ' (Synopsis) section.

視野を広げて書こう ワークシート 「劇の脚本を書こう」

学習日 月 日 ()
一年組 番 ()

場面の状況が分かりやすく伝える劇の脚本を書こう

収集・整理した情報を使って小説の一節を脚本化しよう



第二章

ナレーター

〔あらすじ〕

A large rectangular area with a thin black border, intended for writing the synopsis. It is currently empty.

脚本化のチェックポイント

- 1 登場人物それぞれの視点から書かれているか。
- 2 せりふやト書き、ナレーションなどの目的に応じた言葉づかいや表現で書いているか。
- 3 脚本を読む人に伝えたいことがはっきり伝わるように構成や表現を工夫して書いているか。
- 4 書かれていないことを想像して書くときは、作品の展開をふまえ、作品にある描写を根拠に書いているか。

できているか
チェックしよう！



小説を脚本に書きかえることで、
どんな力が身に付いたと思うかを書
いておこう。

